



おうち

第20号
2012.2

テーマ

「子どもの生活」



表紙工作「ぼくのきょうだい」
ほりえ ゆづき ちゃん(年中)



表紙絵「はねつきしよう」
ほりえ みつき ちゃん(年中)

家庭で築く「生活リズム」



栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会

会長 橋本 房子

皆さんの「おうち」では、朝の「あいさつ」を
していますか?

「おはようー!」のひと言で、今日1日の目覚め
のスイッチが入ります。そのためにも、「早寝、早起き、朝ごはん」の
生活習慣を身に付けましょう。

脳科学者の研究では、「子どもは、夜8時に寝て、朝6時に起きる
ことで、脳や身体が元気な子に育つ」と言われています。十分な睡
眠は、健康のパフォーマンスです。

また、「食」は体の成長や活力を生み、考える力を育てます。命を
つなぐための「食生活」については、次のことに留意しましょう。

- ① 規則正しい食事を心がけましょう。
- ② バランスのとれた食事を考えましょう。
- ③ 好き嫌いを無くすよう工夫しましょう。

毎日の生活の中で見直さなければならぬことは、たくさんあ
ります。そして、子どもを良くするも悪くするも私たち大人に責任
があるのです。子どもの「生活リズム」は、自然に身に付くものでは
ありません。家庭教育の中で徐々に築いていくものなのです。
未来を担う子どもたちのために、「一緒に考えていきましょう」。

家庭教育オピニオンリーダーとは..

公民館などで子どものしつけや発育、家族の
在り方などの家庭教育に関する相談にのったり、
学習会を開いたりしています。

問い合わせ先 県教育委員会事務局生涯学習課

0286(926)3404



「子どもの生活」という
テーマに合わせて、家
庭教育オピニオンリー
ダーさんに協力してい
ただいたピヨ!

特集

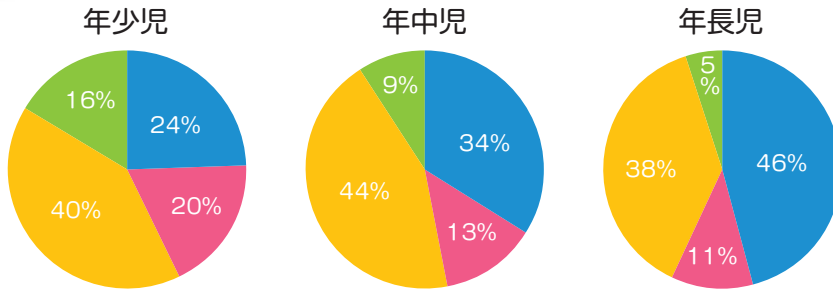
「子どもの生活」

今回は、「子どもの生活」について、アンケートに答えていただきました。
(対象:県内の3~5歳の子をもつ保護者 回答数:4,894件)

Q1

朝、起きて身支度を整えるなど自分でしていますか。

■自分でやっている ■自分でやろうとしている ■声をかけられてやっている
■ほとんど家の人がやっている



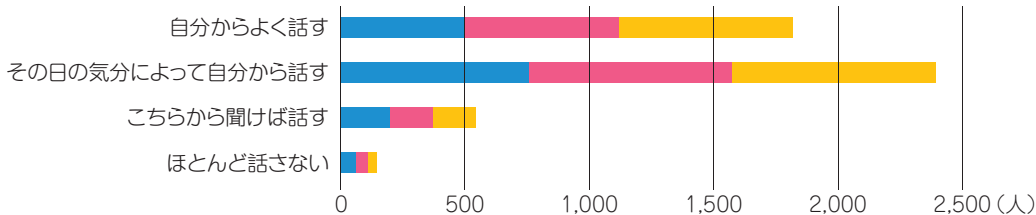
「声をかけられてやっている」割合も多いけど、大人が丁寧にかかわってだんだん自分でできるようにしていくことが大切です!

- 年齢が上がると「ほとんど家の人がやっている」割合は低くなり、「自分でやっている」割合が高くなります。
- 年中児、年長児に比べ、年少児は、「自分でやろうとしている」割合が高いです。

Q2

幼稚園や保育所から帰ったら、その日の出来事や自分の気持ちなどを自分から話しますか?

■年少 ■年中 ■年長



子どものペースに合わせて、ゆっくり話を聞いてあげましょう!

- どの年齢のお子さんも、「その日の気分によって自分から話す」ことが多いです。
- 「自分から話す」「その日の気分によって話す」を合わせると全体の約8割を占めます。

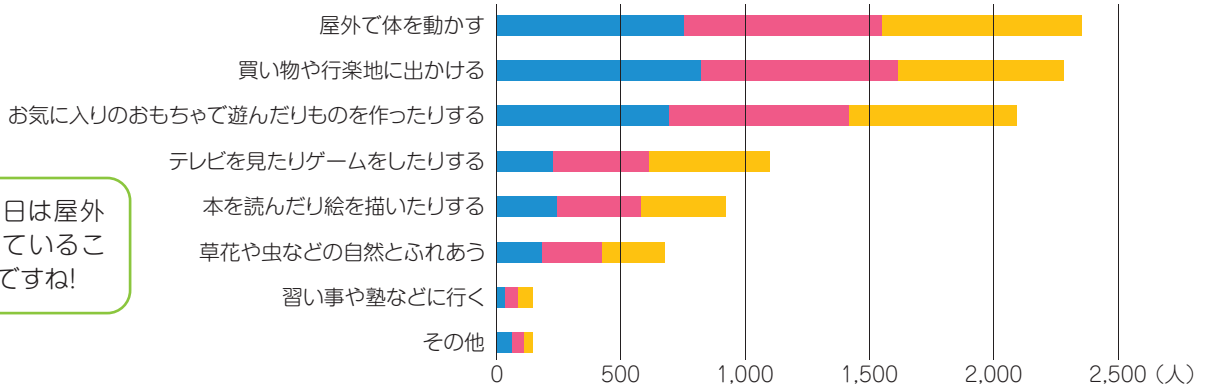
Q3

幼稚園や保育所がお休みの日など、お子さんは主にどのように過ごしますか。(2つ選択)

■年少 ■年中 ■年長



お休みの日は屋外で過ごしていることが多いですね!

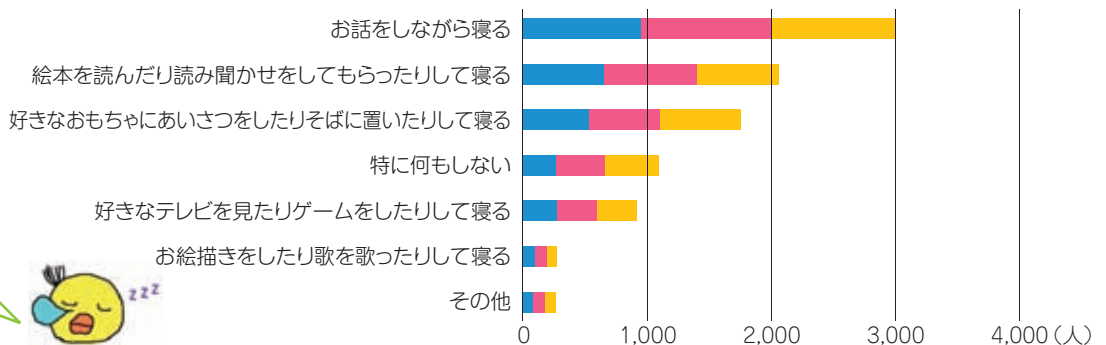


- どの年齢のお子さんも屋外で体を動かして過ごしている割合が高いです。
- 「買い物や行楽地に出かける」や「お気に入りのおもちゃで遊んだりものを作ったりする」割合も高いです。

Q4

夜、お子さんは主にどのようなことをして就寝しますか。

■年少 ■年中 ■年長



大人とふれあったり、お気に入りのおもちゃをよりどころにしたりしながら、安心して眠りに就く子が多いですね!

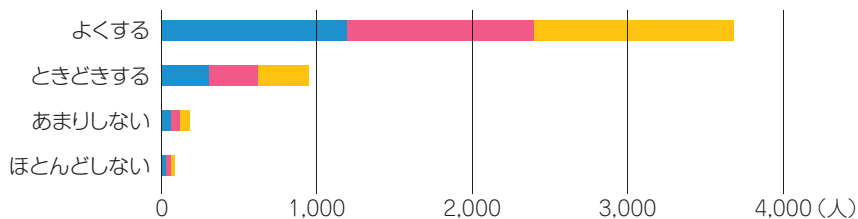


- 「お話をしながら寝る」「絵本を読んだり読み聞かせをもらったりして寝る」割合が高いです。
- 「好きなおもちゃにあいさつをしたりそばに置いたりして寝る」割合も高いです。

Q5

お子さんは「おはよう」「おやすみ」など、あいさつをしますか。

■年少 ■年中 ■年長



Good job !!!

- 「よくする」「ときどきする」の合計の割合が、9割を超えています。

子どもの生活についての自由意見

今だからこそできる親子のかかわりを大切にしたいねピヨ!



お兄ちゃんは、弟が先に寝ているので静かにしてくれます。そんなお兄ちゃんの足を、寝るときに、こっそりさすってあげます。

アンケートに答えながら、休みの日に、大人の都合で子どもを連れ回していることに気付いて反省しました。

子どもが一生懸命身支度をしているのに、忙しい朝にじっくり見守ることができず、つい手を出してしまいます。「何もできない子になってしまったら大変だ〜。」と我慢との戦いです…。

昼間、働いているので、おはようの抱っこは、貴重なふれあいの時間です。たっぷりとスキンシップをとるようにしています。

園からの帰り道の何気ないおしゃべりにこそ、子どもの本音が隠れているような気がします。

ぬいぐるみを相手に絵本の読み聞かせをしている娘をほほえましく思います。



子どもと共に暮らす生活は、時間に追われ、気付いたら一日が終わっていた・・・ということも多いのではないのでしょうか。「子どものペースでゆっくり接してあげたいけれど時間がなくて」「つつい怒ってしまって」などと反省することもあるかと思います。そのようなときは、少し深呼吸をして子どもの立場から「子どもの生活」を考えてみましょう。

身支度やあいさつなどは、子どもが自分からやろうとすることが大切です。「自分からやろうとするエネルギー」は、安心感や満足感、自分はできるという自信から生まれます。子どもは、大好きな人に自分の思いを聞いてもらうことで満足したり、心を寄せてもらうことで安心したりします。その気持ちを大切にしてい、子どもが自分でできたときには、たっぷりとほめてあげましょう。

また、子どもは自分を認めてくれた大人の声には耳を傾けようとしています。その大人がモデルとなり、子どもは真似をして生活に必要な行動を身に付けていきます。ますます信頼関係が深まり、子どもの生活は充実していくことでしょう。忙しくても、時には、子どもの話を心で受け止めてあげてください。

「子どもの生活」を豊かにするためには、身近な大人のかかわりが重要です。時々、お子さんとの生活を振り返ってみませんか。



「ぼくのすきなやりかた」
五味太郎 作 偕成社

「ぼくがやりたいこと」と「お母さんがやらせたいこと」にはギャップがあります。この2冊を並べて親子で同じページを開いて見比べてみると、お互いの本音がわかるかもしれません。



「わたしのすきなやりかた」
五味太郎 作 偕成社

子どもの生活を向上させるために

―栃木の子ども生活状況調査リーフレット(H22.3)より―

栃木県総合教育センターでは、本県児童・生徒の生活の様子や保護者の働きかけ等を把握し、望ましい指導の在り方を探るために、「生活状況調査」を実施しました。

～子どもの生活を向上させるために～

提言

大人に向けた7つの提言

～大切なことはなに?～

調査結果の分析から導いた、各学年に共通する指導の在り方を、家庭、地域、学校のすべての大人が心がけたい7つの提言としてまとめました。

子どもへの指導

提言1 子どもが「納得」できる指導をしましょう。

◇ 教育は、本人が理解し納得して、自ら行動できるようにする営みです。



基本的な生活習慣

提言2 早寝、早起き、あいさつが、自分からできる子どもに育てましょう。

◇ 「あいさつ」は、大人のしつけと本人の自尊感情のパロメータです。



時間の管理

提言3 テレビ・ゲーム・携帯電話、ルールを決めて守れる子どもに育てましょう。

◇ 時間の管理は、大人になるための重要な課題です。



自尊感情

提言4 指導、賞賛、傾聴で、子どもの自尊感情を高めましょう。

◇ 指導、賞賛、傾聴されている子どもは、自尊感情が高く、大人を信頼しています。



不安の軽減

提言5 子どもからの信頼を得て、子どもの不安を軽減しましょう。

◇ 問題行動は、大人への不信と自尊感情低下のサインです。



家庭学習

提言6 子どもの学習について食卓で話題にしましょう。

◇ 学習することの意味や学校での出来事を、子どもと話題にすることが大切です。



将来展望

提言7 将来を展望できる「大人」に育てましょう。

◇ 社会に出て自立する力の育成は、すべての教育活動を貫く教育の目的そのものです。



「栃木の子ども生活状況調査報告書」はこちらで見られます!

栃木の子ども生活状況調査

検索



ワンポイントアドバイス! (生活状況調査担当者より)

子どもが家族にする朝のあいさつは、その子が「前向きに生活しているかどうか」の「ものさし」です。どうして家族にあいさつをすることが大切なのでしょうか。

それは、家族と「良い関係」ができているからです。良い関係というのは、友達同士のような「仲良し」関係ではありません。

朝、家族にあいさつできる子どもほど、大人からしっかりと「返事」や「言葉遣い」「あいさつ」等のしつけをされていて、「家の人に注意されたときに納得できる」ととらえています。「良い関係」とは、大人が長い時間をかけて、子どもに納得を伴うような指導をする関係です。また、朝、あいさつできる子どもほど、「家の方は私のことを考えてくれている」と感じています。「良い関係」とは、子どもが大人を信頼する関係です。さらに、朝、あいさつできる子どもほど「自分には良いところがある」と感じています。「自分には良いところがある」と子どもが感じるには、信頼している大人から「誉めてほしいことを誉めてもらうこと」「大人と意見が違っても耳を傾けてもらうこと」が大切です。「良い関係」とは、賞賛や傾聴ができる関係です。

朝のあいさつには、大人と子どもで長い時間をかけて育んだ「良い関係」が現れてくるようです。

とちぎの幼・保・小連携 ⑩地域がつなぐ連携の取組

今回は、小学校を支援する教育ボランティア（鹿沼市立北小学校の学校教育支援ボランティア「北光クラブ」）の取組を紹介します。同クラブは、学校と地域が協働して子どもの成長を支える活動を長年にわたり続けています。今回の取組は、来年度、小学校に入学する子どもと保護者を対象に、昨年11月から入学前の3月までの期間に全5回学習会を開催するものです。学習会の企画・運営はクラブですが、講師として地域の豊かな人材を有効活用し、内容を充実させています。

「小学校入学前 子どもと親の学習会」

～子ども対象のテーマ～

- 第1回（11月）「おはし もてるかな」
- 第2回（12月）「おなまえ よめるかな」
- 第3回（1月）「おへんじ できるかな」
- 第4回（2月）「ようぶく きられるかな」
- 第5回（3月） 個別の対応

～保護者対象のテーマ～

- 第1回「生活習慣（起床・歯磨き・排便 他）」
- 第2回「食事の習慣・偏食の是正」
- 第3回「体の衛生・トイレの使い方」
- 第4回「あいさつ・コミュニケーション」
- 第5回 個別の対応



左の写真は、第1回「おはし もてるかな」の様子です。子どもにとって小学校の「給食」は、国語や算数の勉強と同じくらい“ドキドキワクワク”なものです。講師やボランティアの方々はそのような子どもの気持ちを大切にしながら一人一人に合わせて支援をします。子どもたちは箸の持ち方や使い方を意欲的に練習しました。ここでのポイントは、「小学校で実際に使用している箸を使う」という講師からの提案だったと代表の渡辺真知子さんは言います。クラブのメンバーでは思いつかないアイデアを講師や小学校の教職員からアドバイスしてもらうことで、より充実した支援ができるようになり、子どもや保護者の不安を解消する近道になりました。

希薄になったといわれる地域のつながりですが、子どもは地域の宝です。このように地道な取組を続けることで、子どもや保護者の不安を取り除き、桜の花咲く入学式に笑顔で臨むことができるでしょう。

掲示板

自由意見で寄せられた声です！

「子育て」をして、初めて相手の気持ちになって物事を考えられるようになった気がします。日々、勉強です。

共働きなので、一緒にいる時間を大切にしたいです。子どもがやりたいことを一緒に楽しもうと思います。

「みんなもそうなんだ。」とホッとしたくて「おうち」を繰り返し見えています。

小学3年生の長男も「おうち」を楽しみにしています。「小さい子でもがんばってるんだね。」と言いながら、自分の励ましにもなっているようです。

★アンケートのお願い★ 次回テーマ 「からだづくり」

「おうち」は皆さんの声で構成する情報誌です。ぜひ、ご協力ください。アンケートは幼稚園・保育所にお出しください。直接、幼児教育センターへお出しいただくことも可能です。



☎ 家庭教育ホットライン（保護者専用）

（ひとりで） なやむな

TEL 028-665-7867

保護者の皆さん！お子さんの育児、子育て、しつけ等家庭教育のことや友達、いじめ等対人関係のことなどで困っていること、悩んでいることはありませんか？秘密は絶対に守ります！一人で悩まず気軽に御相談ください！

受付時間 午前8時30分～午後9時30分 毎日（日曜日を除く）

※上記時間以外と日曜日は留守番電話・

FAX（電話番号と同じ）で対応しています。 栃木県教育委員会

とちぎテレビ番組「とちぎ教育新事情」のご案内

「おうち」第20号に関するテレビ番組を放映します。
日 時：平成24年3月11日（日）10:05～10:25
再放送：平成24年3月12日（月）12:00～12:20

「おうち」は、栃木県教育委員会の「幼児教育センター」が、幼児教育についての情報を提供するために発行しています。バックナンバーはホームページで読むことができます。（アドレスは下欄参照）

栃木県幼児教育センター

検索

幼児教育情報誌「おうち」第20号 平成24年2月発行

発行者 栃木県幼児教育センター 〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1070

TEL 028-665-7215 FAX 028-665-7216

URL: <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/>

e-mail: yokyo-c@tochigi-edu.ed.jp

